



フラワーボットや植栽を沿道に置いて明るい商店街を演出



半地下式を導入した店舗



イベント開催時の買い物風景

11 玉宮通りまちづくり



「玉宮通り」は、JR岐阜駅・名鉄新岐阜駅と市内の繁華街である柳ヶ瀬地区を結ぶ歩行者回遊軸のひとつとして位置付けられており、早くからファッションモールの化が望まれていたが、岐阜市の街並み整備推進事業の導入により、魅力ある個性的な街並みづくりが進められている。

計画に際しては、地域住民が玉宮まちづくり協議会を結成し、将来のまちのあり方を話し合い、その結果をまちづくり協定にまとめ上げ、整備事業に結び付けている。

このまちづくり協定には、ゆとりのある買い物空間の創出を図るため、既存の建物を建て替える際には約一・五倍セットバックさせて、道路との間に空間をつくることをはじめ、商店街としてのにぎわいを高めるため一階部分をできる限り開口部分の広い店舗としたり、半地下式の建物を奨励することなどが盛り込まれている。

整備後は、路面がカラータイル化されたことにより、明るい雰囲気のある街並みが演出されており、民間敷地内に植栽が施されるなど、光と緑のモビリティも進められ、歩行者や買い物客を引き付ける魅力を持った商店街づくりが行われている。

DATA・BOARD ⑪

- ①岐阜県岐阜市金宝町1丁目～長住町4丁目
- ②延長：280m、幅員：6m
- ③JR東海道本線岐阜駅から徒歩約5分、名鉄名古屋本線新岐阜駅から徒歩約3分
- ④金公園、文化センター
- ⑤岐阜信長まつり(10月)に合わせた各種のイベント

